



# 警察庁

National Police Agency

## 2024

### 警察庁技術職員

職員募集案内

国家公務員採用一般職試験(大卒程度・技術系全区分)

国家公務員採用一般職試験(高卒者・技術系全区分)

第一級陸上無線技術士 資格保有者

—国民1人1人の安全・安心から、国の危機管理まで—  
デジタル・サイバーの技術で治安を守る

警察の無線システムや110番受理システム等  
24時間・365日警察活動を滞りなく行うための  
警察通信基盤の計画的な整備・運用。

事件・事故・災害発生時における現場状況の  
警察庁、首相官邸等へのリアルタイムでの伝送。

迫り来るサイバー空間の脅威への対応。

AI等最先端技術の研究・開発。

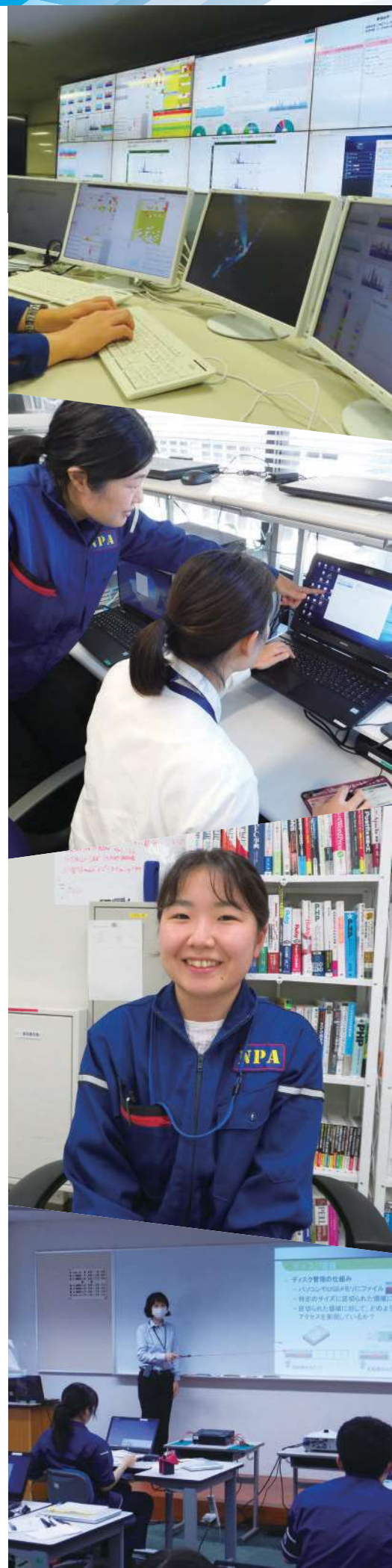
警察活動を技術力で高度化し、  
警察組織の技術革新者としての役割を担う職員がいます。  
それが、警察庁技術職員です。

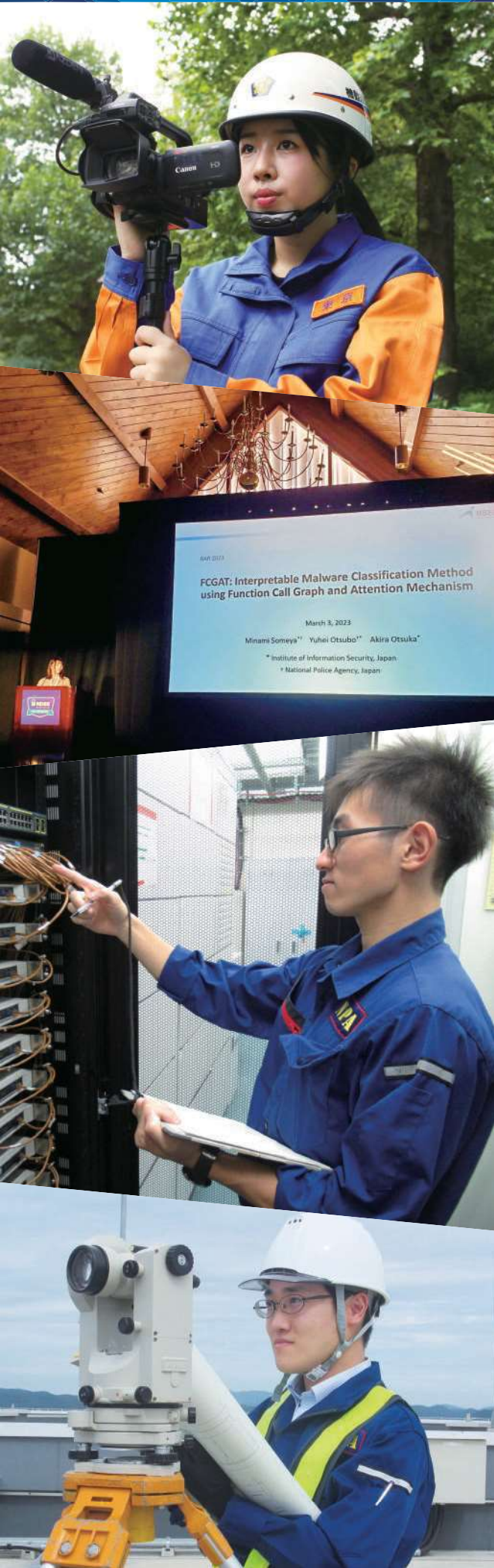
AI等の様々な先端技術の登場や社会のデジタル化が進展する中、  
警察はその使命を果たすため、  
時代の変化に的確に対応しなければなりません。

技術的な知見を、  
国民の安全・安心の確保のため、社会秩序の維持のため、  
遺憾なく発揮できるフィールドが  
警察庁にはあります。

理系として培ってきた深い洞察力、  
論理的な思考力、柔軟な発想力、

そして、豊かな人間性を備えた「あなた」が、  
警察庁の門をたたくことを期待しています。





## CONTENTS

### PART1 警察組織の紹介

警察機構図	4-5
警察庁技術職員の役割・魅力	6
採用機関と勤務先	7

### PART2 技術職員の業務紹介

地方機関	
機動通信課	8-9
通信施設課	10-11
情報技術解析課	12-13
警察庁内部部局	
官房技術部門	14
サイバー警察局	15
附属機関	
警察情報通信研究センター	16
サイバーセキュリティ対策研究・研修センター	
多様な活躍のフィールド	17

### PART3 能力を伸ばす研修制度

通信職員養成科（技術初任）	18-19
職場における各課での研修	20
通信職員養成科（技術補習）	
専門研修（各種専科入校）	21

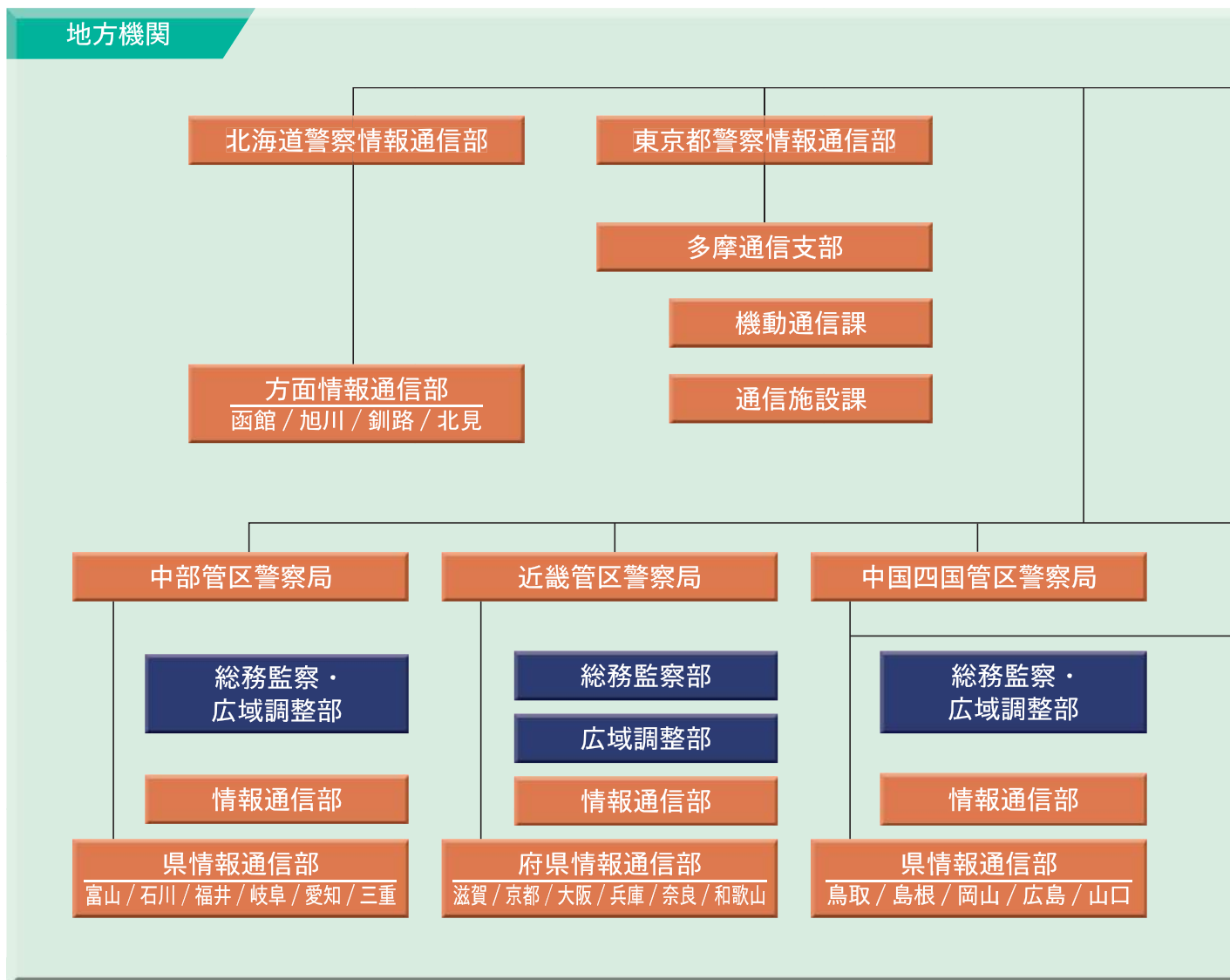
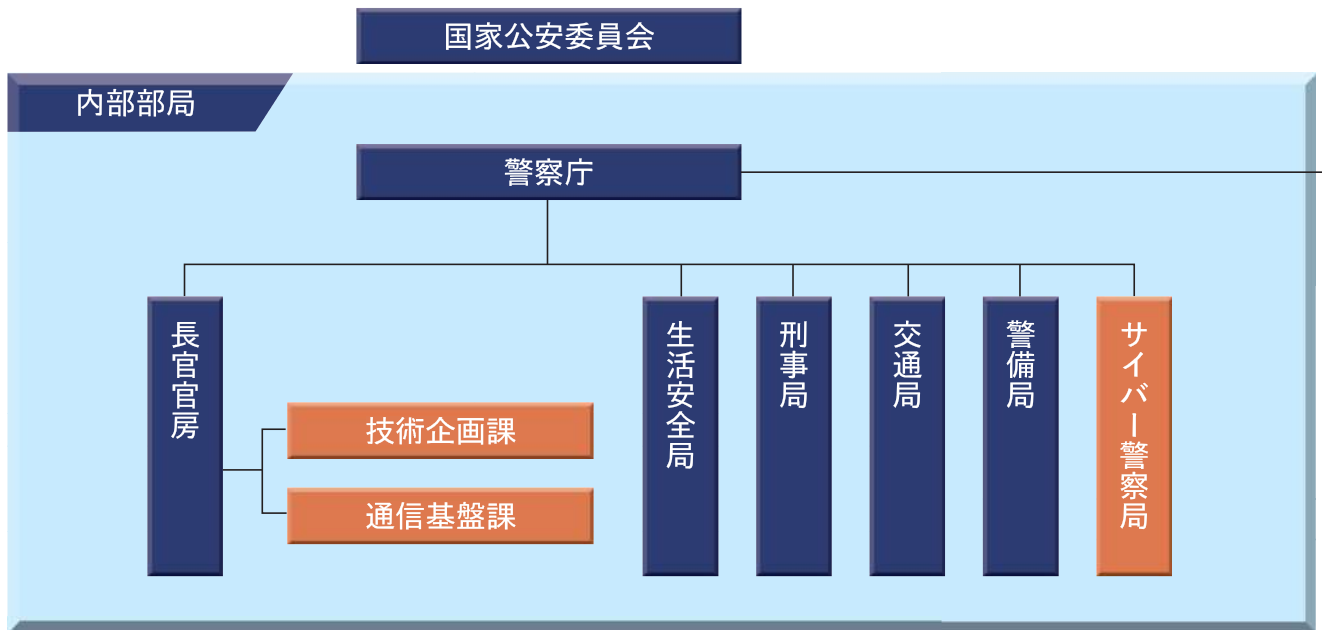
### PART4 多彩な人材の活躍

女性職員座談会	22-23
キャリアパス	24-25
ワークライフバランス	26-27
若手職員の日	28

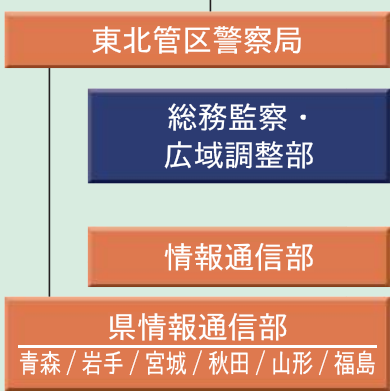
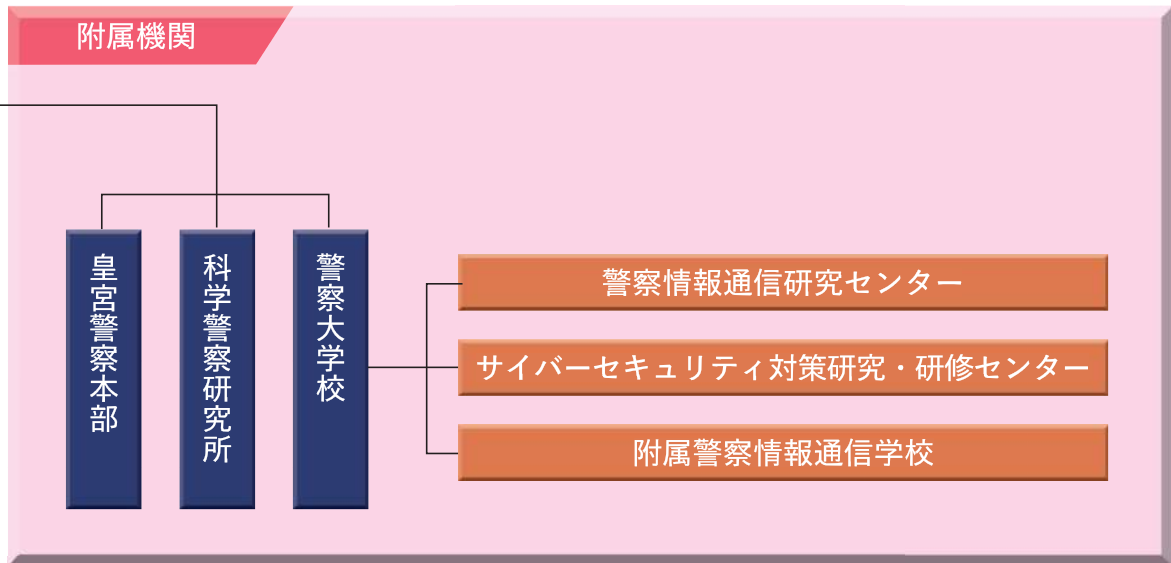
### PART5 採用ガイド

採用案内	29
採用Q&A	30
採用窓口	31

# 警察機構図

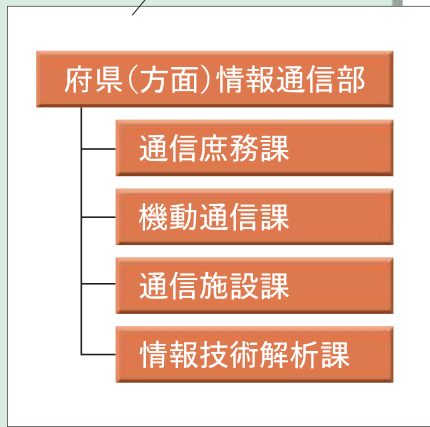
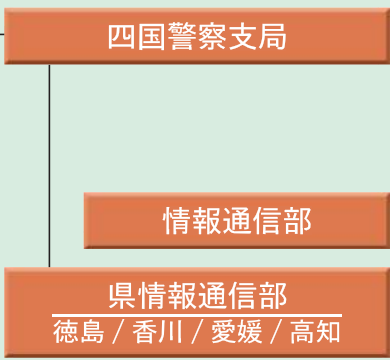


警察庁技術職員が主に活躍する組織



関東管区警察局内に、重大なサイバー事案の解明・捜査を担う国の組織として、サイバー特別捜査隊が、2022年に設置されました。

警察の情報通信部門は、全て国家公務員である警察庁職員が担当します。そのため、各都道府県に警察庁の地方機関として情報通信部が設置され、都道府県警察と協力し活動しています。



# 警察庁技術職員の役割・魅力

## 警察庁技術職員の役割・魅力

### 技術のプロフェッショナルとして能力を発揮

警察庁には、「情報通信技術」という専門性をキャリアの軸にした、技術のプロフェッショナルがいます。それが、警察庁技術職員です。

警察独自の110番受理システムや警察の無線システム等の情報通信システムの構築や、犯罪捜査におけるデジタル・フォレンジック（鑑識）の業務を担い、国民の安全・安心を守る第一線警察活動に欠かせない存在となっています。

### 多様な活躍のフィールド

警察庁本庁での勤務はもとより、都道府県警察や他省庁、国際機関での勤務に加え、国内外の大学での研究など、現場で培った技術力を活かし、チャレンジ・活躍できる環境が警察庁にはあります。

採用区分にとらわれず、広い知見を持つことは、今後のあなたを成長させ、ひいては警察の未来を支えていくことにつながります。

### 充実した研修制度

採用1年目の採用時研修や、採用2年目以降の専門的な技術の研修など、基礎的な内容から専門的な内容まで、全国の同期と切磋琢磨しながら学ぶことができる質の高い研修制度が整っています。

### ワークライフバランスの推進

職員が仕事に打ち込むためには、ワークライフバランスの充実が不可欠です。

職員が自己の能力を最大限に発揮できるよう、仕事と生活の調和が図られるよう、職場として後押ししています。

また、子供が3歳になるまで休業できる育児休業制度をはじめとした妊娠・出産・育児の支援に関する制度も整っており、男女関係なく、子育てをしながら長く安心して働くことができます。



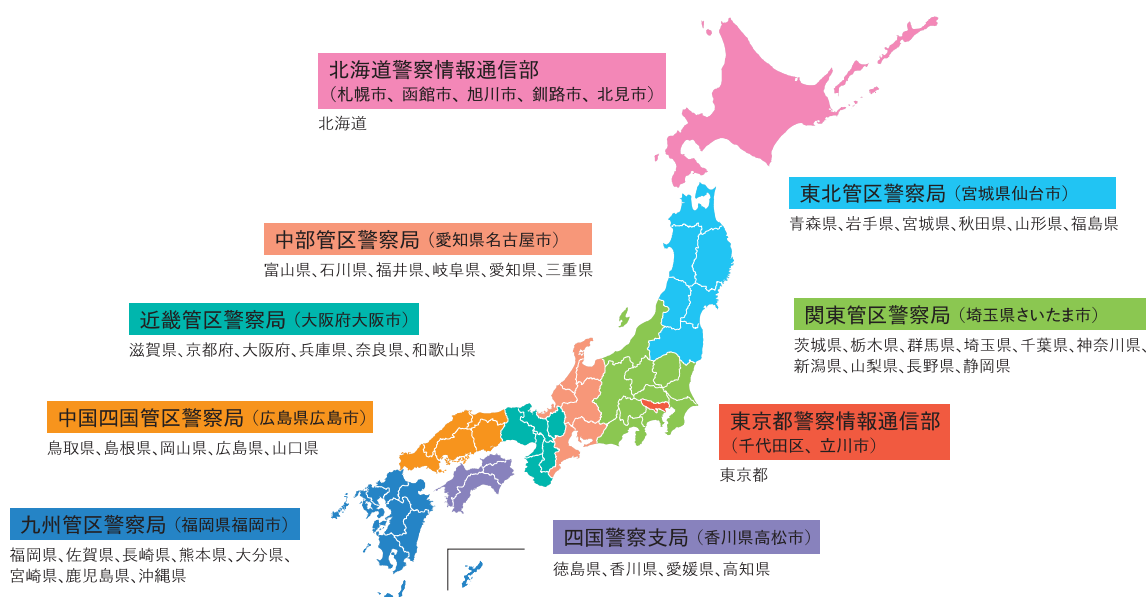
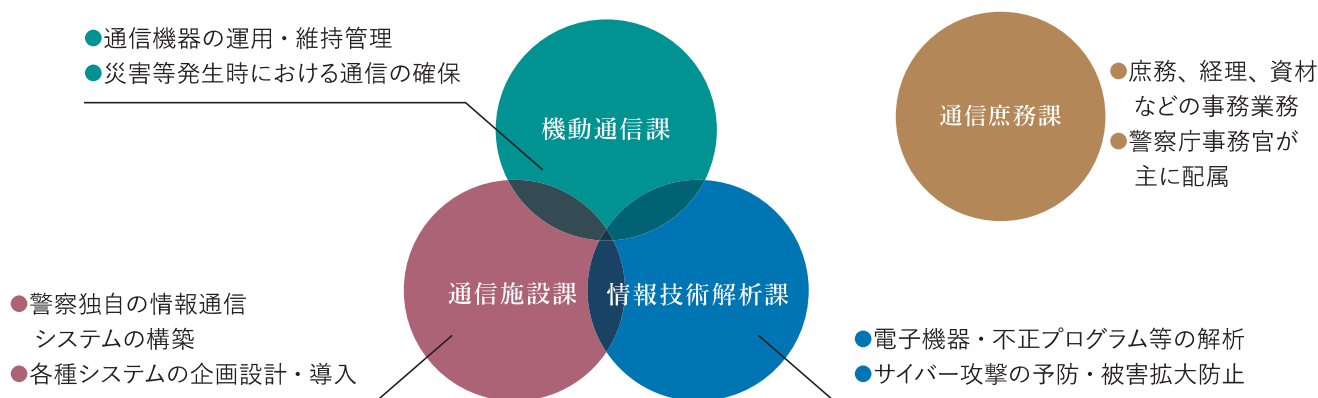
## 採用機関と勤務先

警察庁は、主に東京に所在する内部部局のほか、附属機関、全国の各地域の地方機関で構成されています。地方機関には、エリアごとに置かれた6つの管区警察局と、北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部があり、警察庁技術職員は地方機関ごとで採用され、基本的には採用された地方機関内で勤務します。

また、本人の希望や適性により警察庁本庁（内部部局）や附属機関等での勤務の機会もあります。

勤務地は、各府県庁所在地（北海道は道内主要地域、東京都は千代田区及び立川市）となります。

各都道府県には情報通信部が設置されており、基本的に通信庶務課、機動通信課、通信施設課、情報技術解析課の4課で構成されています。



## 各機関の役割

各都道府県の情報通信部では、警察本部、警察署等において必要な情報通信システムの整備・維持管理・運用を行うほか、各種事案に即応した情報通信対策やデジタル・フォレンジック（鑑識）を行うなど、各都道府県における第一線の現場活動への対応も担っています。

また、管区警察局の情報通信部は、府県情報通信部と連携して、警察庁や都道府県警察間を結ぶネットワークの整備、管理等を行い、管内の広域的な事案への対応や管内府県間の連携の確保等により、全国警察の有機的連携の確保に努めています。

警察庁本庁（内部部局）は、全国統一的なシステムやネットワークの戦略的な整備計画の検討、高度・最先端のデジタル・フォレンジック（鑑識）の企画・実施を行うなど、全国警察に関する政策を企画・立案することが主な役割となっています。



# 機動通信課

～事件・事故・災害発生に備える、発生時の通信を守る～

## 業務概要

警察活動においては、あらゆる事件、事故、災害等に迅速かつ的確に対応するため、指揮、報告、連絡等に用いる強靱な情報伝達手段が不可欠であり、無線機等の通信機器や無線中継所等の通信施設は「警察の神経系統」として大きな役割を果たしています。

機動通信課では、これらの通信機器・通信施設が常に万全の機能を発揮できるように、平素から点検、調整、監視といった維持管理業務に当たるとともに、災害や障害等の発生に備え、想定外の事態でも対処できるように実践的な訓練を繰り返し行っています。

実際に事案が発生した場合は、情報通信部の職員で構成する機動警察通信隊が直ちに出動し、現場の状況を撮影して警察本部へ映像を伝送するほか、無線などの通信機器により、現場活動を行う警察官の通信手段の確保を行います。

このほか、世界的な会議や博覧会、大規模国際大会のようなイベントが国内で開催される際の、大規模な警備が円滑・確実に実施できるよう必要となる通信の確保を行います。





### 現在の業務内容

警察署に設置している電子交換機及び電話機の障害対応や、電話機を新設する際の配線作業などを主な業務としています。また、事案・災害発生時にも対応できるよう訓練に参加し、日々技術力の向上に努めています。警察本部の執務室より、現場に赴いて作業をすることが多いです。

### 職場の雰囲気について

明るくにぎやかで、仕事のしやすい空気感です。それでいて、集中するときはしっかり集中し、メリハリをつけて業務を行っています。先輩や上司の方々は普段は優

関東管区警察局  
千葉県情報通信部 機動通信課 係員

2022年採用  
一般職試験（大卒程度）  
電気・電子・情報

2022年 関東管区警察局  
2023年 現職

しく、時に厳しくもありますが、親身になって若手職員を気にかけてくれます。

### 受験生へのメッセージ

学んだ技術を仕事で活かしたい、正義感のある仕事がしたいという方、ぜひ我々と一緒に働きましょう！自身の技術力で日々の警察活動を支えることができます。活かせる技術がないという方も安心してください。研修制度が充実しているので、業務を進めながら必要な技術を磨くことができますので、心配無用です。



### 現在の業務内容

無線機の修理や、警備の際に使用する各種通信機器の準備等を担当しています。私の仕事は、警察官と直接お話しする機会は少ないですが、無線機がどのように故障してしまったのかを見極め、部品交換や修理をして、現場で活躍している警察官に安心して使ってもらえるよう日々努力しています。

### 現在の業務で一番達成感を感じたこと

大規模警備が無事に完遂されたときに達成感を感じます。

経験を重ねていく中で、自身が点検・調整した無線機が現場の情報を伝える重要な役割を担っていることをよ

東京都警察情報通信部  
機動通信第二課 主任

2020年採用  
無線従事者資格

2020年 東京都警察情報通信部  
2023年 現職

り理解し、以前よりも効率的かつ確実な方法を考えながら、スケジュールの調整ができた時、自身の成長を感じました。

### 警察庁を志望した理由

私は、柔道の経験が9年あり、当初警察官になることを志望しておりました。ですが、警察庁で働いている母校の先輩方から警察庁技術職員の業務について教わり、学生時代に取得した無線従事者の資格を生かせると思い、警察庁技術職員として警察活動の役に立ちたいと考え、志望しました。



# 通信施設課

～警察の情報通信システム・インフラをつくる～

## 業務概要

いつどこで発生するか分からない事件、事故、災害等に警察が的確に対応するため、警察では全国を網羅する通信網が構築されており、現場警察官の指揮命令や報告連絡等に活用されています。

通信施設課では、このような通信網を実現する警察通信施設の整備を行っています。整備に当たっては、耐災害性、利便性、コスト等を考え、警察にとって最適な技術を導入することが求められており、先端技術情報の収集や、関係省庁、民間事業者等との連携が欠かせません。

G7広島サミット2023をはじめ、これまでも2019年のG20大阪サミット、ラグビーW杯、2021年の東京オリンピック・パラリンピックなどにおいて重要施設、関連施設等に臨時的警察通信施設を設置し、円滑な現場警察活動に貢献しました。警察の「神経系統」を情報通信技術により整備する通信施設課の責務は、ますます重要なものとなっています。



## 現在の業務内容

警察通信施設の維持管理に日々奔走しています。すでに整備されている警察通信施設を計画的に維持・管理し、いついかなる時でも滞りなく稼働できるよう、警察の通信網を維持し、安定した警察活動を支えることが仕事です。

## 職場の雰囲気について

警察という堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、昼休みには同僚と一緒に出勤をとって食べたり、趣味の話で盛り上がり楽しく過ごしています。また、職員それぞれが様々な分野のスキルを持っているので、



## 現在の業務内容

警察通信施設に関する工事の計画が主な業務です。工事に先立ち、現地調査を行い、事業者に発注するための仕様書を作成しています。完成後は、警察活動が円滑に行えるよう定期的に点検作業を実施するなど、警察通信施設の維持管理をしています。

## 現在の業務で一番達成感を感じたこと

工事を発注するためには、現地調査や土地・建物の管理者との折衝等が必要であり、計画的に業務を進める必要があります。契約後は工事の進捗を監督します。工事には長い期間を要しますが、完成したときは達成感を感じ

北海道警察情報通信部  
函館方面情報通信部 通信施設課 係長

2013年採用  
無線従事者資格

2013年 北海道警察情報通信部  
2017年 北海道警察情報通信部 主任  
2021年 北海道警察情報通信部 係長  
2022年 現職

自分の知らない話を聞くことができるのも魅力です。

## 受験生へのメッセージ

私は自分の技術力が安全・安心な社会づくりに役立っていることを誇りに思っています。また、技術的なスキルは採用後の研修や各種専科への入校などでも身につけるができますので、社会に貢献することはもちろん、自身の成長も実感できる職場です。警察庁技術職員としてぜひ一緒に働きましょう。

中部管区警察局  
福井県情報通信部 通信施設課 主任

2020年採用  
一般職試験（大卒程度） 建築

2020年 中部管区警察局  
2023年 現職

じるとともに第一線の警察活動を支えていることに誇りと使命感を感じています。

## 職場の雰囲気について

上司に質問がしやすく何でも話せる職場環境です。コミュニケーションを取ることで業務の方向性が確認でき、安心して業務に集中することができます。また、計画的に休暇等も取りやすく充実した日々を過ごしています。



# 情報技術解析課

～サイバー技術で新たな犯罪に対応する、社会のセキュリティを高める～

## 業務概要

パソコンやスマートフォン、スマート家電などのあらゆるものがインターネットにつながり、サイバー空間は私たちの日常生活の一部となっています。生活が便利になる一方で、様々な犯罪においてスマートフォンやウェブサービスが悪用されており、これらに保存されている電子データは被疑者の特定や犯罪事実の証明を行う上で非常に重要になっています。また、社会の機能を麻痺させるサイバー攻撃が世界的規模で発生するなど、サイバー空間における脅威は深刻な状況にあります。

情報技術解析課は、サイバー技術のプロフェッショナルとして、捜査現場で差し押えられたスマートフォンからのデータの抽出・可視化、マルウェアの挙動の分析などのデジタル・フォレンジック（鑑識）を担っており、現代のあらゆる犯罪捜査においてその重要性を増しています。

また、国民の生活を支えるインフラのセキュリティを高めるなどして、サイバー犯罪やサイバー攻撃による被害を防止するため、警察庁のウェブサイト等を通して企業や国民に広く技術情報を提供しています。



IT技術を駆使して  
国の治安を守る。

関東管区警察局  
栃木県情報通信部 情報技術解析課 主任

2020年採用  
一般職試験（大卒程度） 農学

2020年 関東管区警察局  
2023年 現職

### 現在の業務内容

電磁的記録の解析のほか、サイバー攻撃発生時における初動対応や、大規模イベントにおけるサイバー攻撃対策を担当しています。あらゆる電子機器、記録媒体が証拠品となり得るため、日頃から最新の情報を収集することも業務の一つです。

### 現在の業務で一番達成感を感じたこと

東京オリンピック・パラリンピックやG7におけるサイバー攻撃対策を完遂したことです。事業者との連絡体制の確立や技術情報の交換、現場における不審Wi-Fiアクセスポイントの調査を行い、東京オリンピック・パラ

リンピック大会やG7期間中のサイバー空間における安全を守りました。

### 受験生へのメッセージ

私は、農学区分からの採用者です。情報系の知識や経験がない状態から、情報技術解析の業務を行う事は苦労を要することは事実ですが、専門的な研修などによって体系立てて情報技術解析を学ぶことができ、採用区分にとらわれず業務を遂行することができます。

皆様の入庁を心よりお待ちしております。



技術力を活かして  
警察活動を支える。

中部管区警察局  
石川県情報通信部 情報技術解析課 主任

2020年採用  
一般職試験（大卒程度） 化学

2020年 中部管区警察局  
2023年 現職

### 現在の業務内容

事件捜査で押収されたパソコンやスマートフォンから、犯罪の立証につながるデータを抽出するなど、警察が行う犯罪捜査を技術面から支援することです。

その他に、警察官に同行し、事件に関係するパソコンやスマートフォンについて、犯罪の事実となるデータの確認を行う検証や搜索差押え時における技術的支援を行っています。

### 職場の雰囲気について

職場の雰囲気は、とても良く、明るく和やかです。解析業務を行うときは、一人で黙々と作業を進めていくだけでなく、解析手法等について上司や同僚と相談しながら業務を進めています。分からないことがあったとき

には、上司に相談すれば、親切に教えてもらうことができるため、とても働きやすい職場です。

### 現在の業務で一番達成感を感じたこと

情報技術解析課に配属されて初めて解析業務を担当するときに、解析用ソフトウェアの使い方から解析結果をまとめた報告書の作成に至るまで、戸惑いながらも、上司のサポートを受けながら、解析をやり遂げることができ、犯罪の取締りのために自分の技術力が役に立ったんだという達成感が得られました。

# 官房技術部門



システム整備に  
関係することは  
何でもできる。

警察庁長官官房  
技術企画課 情報化担当参事官室 主任

2015年採用  
一般職試験（大卒程度） 電気・電子・情報

2015年 近畿管区警察局長  
2019年 近畿管区警察局長 主任  
2021年 警察庁情報通信局長 主任  
2023年 現職



技術力を活かして、  
警察活動の一翼を  
担っています。

警察庁長官官房  
通信基盤課 主任

2016年採用  
一般職試験（大卒程度） 物理

2016年 中部管区警察局長  
2020年 警察庁情報通信局長 主任  
2023年 現職



技術力を活かし、  
警察活動に  
貢献できる職場。

警察庁長官官房  
通信基盤課 通信運用室 主任

2015年採用  
一般職試験（大卒程度） 物理

2015年 関東管区警察局長  
2019年 関東管区警察局長 主任  
2020年 警察庁情報通信局長 主任  
2022年 現職

## 現在の業務内容

私は現在、国民の利便性向上のため、行政手続のオンライン化のためのシステム整備を担当しています。警察が所管している行政手続の多くは、現状、申請者が警察署などに赴き手続を行う必要があります。

こういった行政手続をインターネットを通じて行えるようにするためのシステム整備に取り組んでいます。

## 業務をする上で心がけていること

「本当に解決したい問題は何か」を意識することを心がけています。システムの構想を言葉にして他人に伝えることは極めて難しいです。

相手の話をよく聞き、こちらから話す場合は表現に注意し、本当に必要なシステムのイメージを共有できるよう努めています。特に、通信技術と関係のない領域に経験・知識を持つ警察官とのコミュニケーションでは気をつけるよう心がけています。

## 現在の業務内容

第一線の警察官が使用する無線機をはじめ、通信指令システム、全国警察を結ぶネットワーク等の様々な警察通信施設の整備・維持を担当しています。

これらの警察通信施設は、警察業務を遂行するために必要不可欠なものであり、警察の神経系統とも言えます。私は、警察通信施設が24時間365日利用できる状態にするため、日々のメンテナンスや老朽化した警察通信施設の更新などを行う業務に携わっています。

## 現在の業務で一番達成感を感じたこと

システム整備では、機能要望・整備数量の調査、仕様書の作成、設計資料確認や動作試験など様々なプロセスを積み重ねますので、整備が完了した際は大きな達成感があります。

また、整備したシステムについて、警察官から「たくさん活用している。現場が助かっている。」と聞いたときには、とてもやりがいを感じました。

## 現在の業務内容

全国の無線、映像、衛星通信システムなどの運用における統制、大規模な警備における情報通信対策の指導や調整を行っています。また、突発的な事案や大規模な災害が発生したときは、地方機関の機動警察通信隊の活動について指導や調整を行い、関係所属や首相官邸への現場映像の伝送等を担当しています。

## 現在の業務で一番達成感を感じたこと

令和3年7月に発生した静岡県熱海市の災害対応に従事したことです。被災地の地方機関などと連携し、機動警察通信隊が撮影した現場映像を警察庁へ映像伝送するために衛星通信システムなどの映像回線の調整、運用の統制を行いました。この災害対応を通じて、地方機関や現場で活動する機動警察通信隊と連携し、大規模災害における情報通信対策を完遂できたことに達成感を感じることができました。

# サイバー警察局



法執行機関でしか  
行えない業務が  
あります。

サイバー警察局  
サイバー企画課 係長

2010年採用  
国家公務員Ⅱ種試験 電気・電子・情報

2010年 関東管区警察局  
2018年 関東管区警察局 県情報通信部 主任  
2019年 関東管区警察局 県情報通信部 係長  
2021年 茨城県警察 警部補 (出向)  
2023年 現職

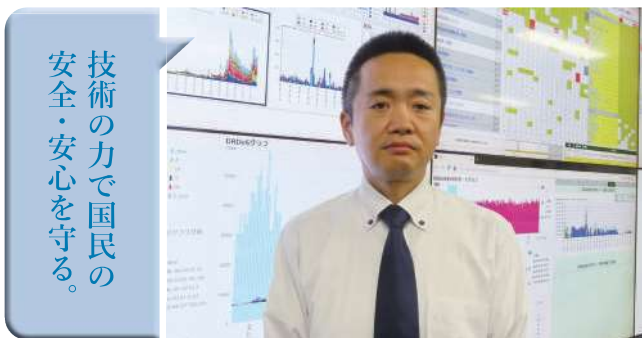


日本のみならず、  
世界の安全を  
守ることができる！

サイバー警察局  
サイバー捜査課 主任

2016年採用  
一般職試験 (大卒程度) 物理

2016年 近畿管区警察局  
2018年 警察庁情報通信局 係員  
2020年 警察庁生活安全局 主任  
2022年 現職



技術の力で国民の  
安全・安心を守る。

サイバー警察局  
情報技術解析課 サイバーテロ対策技術室 課長補佐

1995年採用  
国家公務員Ⅲ種試験 電気

1995年 九州管区警察局  
2005年 九州管区警察局 県情報通信部 主任  
2007年 警察庁情報通信局 主任  
2010年 九州管区警察局 係長  
2012年 警察庁情報通信局 係長  
2017年 警察庁情報通信局 専門官  
2021年 九州管区警察局 県情報通信部 課長  
2021年 警察庁指定広域技能指導官に指定  
2023年 現職

## 現在の業務内容

インターネットバンキングに係る不正送金事犯等について被害組織から通報される被害情報の分析を行っています。また、ダークウェブを監視するなどして、ランサムウェア等の被害によってID・パスワード等が流出してしまった被害組織の調査・分析をしています。

調査・分析の結果は、捜査を担当する所属や関係機関に共有しており、捜査や被害防止対策の実施に役立てられています。

## 現在の業務で一番達成感を感じたこと

分析・調査の結果を関係機関に共有していますが、関係者から分析や調査の結果が被害防止対策等に役立ったと言われたときに、大きな達成感を感じました。

分析や調査を行うだけでは直接被害を減らすことはできませんが、関係機関と協力することで被害を減らし、ひいては、サイバー空間の安全・安心を確保することができるので、その目的が達成されたことを知ったときは、達成感を感じられます。

## 現在の業務内容

サイバー犯罪の取締に関する依頼や情報交換について、海外捜査機関との連絡調整業務を担当しています。国際共同捜査のため、外国に出張し、外国警察と一緒に解析作業を行ったり、捜査方針を協議したりすることもあります。

現在は、サイバー犯罪に係る国際共同捜査の中心を担う欧州刑事警察機構 (ユーロポール) が所在するオランダの大学院に留学中です。

## 警察庁技術職員の魅力

警察庁技術職員の業務は、都道府県警察の警察官の業務を支えるだけに留まらず、日本警察を代表して世界で活躍することもできます。

初めは不安も大きかったですが、研修制度が充実しており、専門的な知識を学ぶことができるほか、海外捜査機関が主催するトレーニングに参加できるなど、成長する機会が豊富にあることが魅力です。

## 現在の業務内容

日々発生するサイバー事案に対して、全国に設置されているサイバーフォースが実態解明や被害拡大防止等の対処活動を行う際に、的確に対応できるよう指導や助言を行っています。

その他にも、最新のサイバー攻撃手法に関する情報収集やサイバーフォース要員の育成・トレーニングも担当しています。

## 現在の業務で一番達成感を感じたこと

G7広島サミットなどの大規模イベントが終了した際には、達成感とともに「無事に終わって良かった」と安堵する気持ちが湧いてきました。

また、広域技能指導官として現場の職員から相談を受けた際や若手職員への研修を行った際に、「役に立った」などの言葉を聞くことができた時も達成感を感じる瞬間です。

# 警察情報通信研究センター

警察大学校に置かれている警察情報通信研究センターでは、最新の情報通信技術から、世の中に普及している様々な情報通信技術や実用化されているサービスまで幅広く技術を調査し、これらを警察活動に活用するべく研究を行っています。

このようにして得られた研究成果は、犯罪捜査の高度化や警察における情報システムの整備に活用されています。



データサイエンスで  
警察活動を高度化。

警察情報通信研究センター  
応用第二研究室 助手

2019年  
一般職試験（大卒程度） 物理

2019年 関東管区警察局  
2022年 現職

## 研究内容

警察は、発生した犯罪の被害の情報や場所などの様々な犯罪関連情報を取り扱っています。この情報を用い、犯罪の分析や予測を行うことで、効率的な犯罪抑止活動を展開することが期待されます。

私は、警察内のデータサイエンティストとして、犯罪抑止につながる最新の技術動向を調査し、実際に犯罪関連情報の分析や実証実験等を行っています。

## 受験生へのメッセージ

公共の安全と秩序を維持するという国家・国民のための警察活動に、皆様の科学的な知見を役立てることができま

す。少しでも興味を持たれた方はぜひ、警察庁への官庁訪問をお願いします。意欲ある皆様と働けることを楽しみにしております。

# サイバーセキュリティ対策研究・研修センター

サイバーセキュリティ対策研究・研修センターは、犯罪の取締りのための情報技術の解析に関する研究やサイバー空間における警察全体の対処能力向上に係る研修を行う機関として、警察大学校に設置されており、解析研究室と捜査研修室の二室で構成されています。

解析研究室では、新たな不正プログラムや最新の電子機器に対応した解析手法の確立に向けた研究等を、捜査研修室では、サイバー捜査に従事する捜査員・幹部に、高度な技術的知見等を修得させるための研修を行っています。



新たな発見。

サイバーセキュリティ対策研究・研修センター  
捜査研修室 主任助手

2016年採用  
一般職試験（大卒程度） 電気・電子・情報

2016年 北海道警察情報通信部  
2020年 北海道警察情報通信部 主任  
2021年 警察庁情報通信局 主任  
2022年 警察庁サイバー警察局 主任  
2023年 現職

## 現在の業務・研究内容

私が所属する捜査研修室では、サイバー捜査に従事する捜査員や幹部に対して、サイバー犯罪にかかる法令や捜査手法、技術的な分析手法を修得させるための研修を行っています。

具体的には、コンピュータやシステムにおける情報セキュリティ上の欠陥を突いたサイバー攻撃を受けた際、システム上にどのような記録が残るか、また、攻撃行為を特定するためのアプローチ方法などを実践的に学ぶことができますよう研修を行っています。

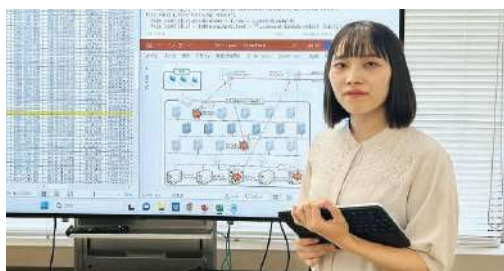
## 業務をする上で心がけていること

サイバー空間における犯罪行為は日々巧妙化しており、国民の生命、身体及び財産を守るためには高い技術力や知識が求められます。そのため、民間の研修やセキュリティセミナー、内部の勉強会を受講するなど、日々、自己の研鑽に努めています。



# 多様な活躍のフィールド

## 都道府県警出向



警視庁生活安全部サイバー犯罪対策課  
巡査部長

2019年採用

一般職試験（大卒程度） 電気・電子・情報

2019年 東京都警察情報通信部

2022年 東京都警察情報通信部  
情報技術解析課 主任

2023年 現職

### 現在の業務内容

警視庁のサイバー犯罪対策課に警察官として出向し、事件捜査を担当しています。捜査の過程において、捜索時に差押え対象の電子機器を適切に判断し、押収したスマートフォン、パソコン等からデータを抽出し解析を行っています。時には、暗号化されたデータの復号や削除されたファイルの復元など高度な技術を求められることもあります。

### 警察庁技術職員の魅力

一つの職場だけではなく都道府県警をはじめとした他機関への出向をとおして、多種多様な業務経験を積み重ねて成長していくことができる点が、警察庁技術職員の魅力であると思います。業務の幅が広い分、自分の興味・適正に合った分野を見つけて社会貢献していくことができます。

## 他省庁出向



デジタル庁  
係員

2018年採用

一般職試験（大卒程度） 電気・電子・情報

2018年 中部管区警察局

2021年 警察庁情報通信局 係員

2021年 現職

### 現在の業務内容

私の業務は、デジタル庁におけるセキュリティインシデント（機械やシステムのセキュリティに関する事故やリスクなど）への対応を行い、システムや個人情報などを守ることです。具体的には、インシデントを防止するために注意喚起や訓練を行ったり、インシデントが発生した際には拡大防止等のために調査と助言を行っています。

### 現在の業務で一番達成感を感じたこと

日々の調査や学習によって得た知識が、インシデント発生時における適切な対応に結びついた時、大きな達成感を感じました。事前の準備を怠らないためにも、こうした経験を大切にしたいと感じました。

## 国内留学



警察庁サイバー警察局 情報技術解析課  
サイバーテロ対策技術室 主任

2018年採用

一般職試験（大卒程度） 物理

2018年 関東管区警察局

2020年 サイバーセキュリティ対策研究・研修  
センター 助手

2021年 サイバーセキュリティ対策研究・研修  
センター 主任助手

2022年 現職（情報セキュリティ大学院大学）

### 研究内容

AI・機械学習を活用してマルウェア解析を効率化する研究を進めています。サイバー事案に使用されたマルウェアの挙動を明らかにするには、時間をかけてプログラムを解析する必要があります。AIを導入してその解析速度を向上させることで、事案の早期解明に繋がりたいと考えています。大学院での研究では、世界トップクラスの精度でマルウェアの種類を特定する手法を開発し、その研究成果をアメリカの学会で発表しました。

### 受験生へのメッセージ

学部で学んだ物理学の知識はもう活用できないかと思っていましたが、現在では機械学習の勉強に役立っています。分野が違うからと躊躇せず、新しい領域に飛び込んでみるのも良いのではないのでしょうか。

# 研修制度

## 通信職員養成科（技術初任）

採用されると間もなく、警察情報通信学校に入校し、全国各地で採用された同期とともに、技術職員として業務をしていく上で必要となる知識や技能について学びます。

学校内には、食堂や大浴場のほか、グラウンドやテニスコートもあり課外の時間も快適に過ごすことができます。

授業は1日5時限（1時限は80分）で、経験豊富な教官たちが行います。情報通信に関する知識がない方でも習得できるよう、座学のほか、業務で実際に使用する機器を用いた実習を多く取り入れて丁寧に行いますので、安心して学ぶことができます。

全国の同期たちとともに生活し、学習するのは、お互いの絆を育む、とても貴重なものとなっています。



## 通信職員養成科(技術初任) カリキュラム

データ通信	ネットワーク技術 データ通信システム など
基幹通信	電子交換機 基幹 IP 網システム 通信指令システム など
無線通信	無線工学 警察無線システム など
機動通信	衛星通信 映像通信 無線運用 電源設備 高所作業 など
情報技術解析	電磁的記録解析 技術支援業務概要 など
情報管理	情報処理技術基礎知識 など
一般教養	職務倫理 ビジネスマナー 情報セキュリティ対策 文書作成 文書管理・情報公開 など
その他	警察礼式 体育 各種行事 など

6時30分の起床から23時の消灯まで、規則

9:00



1時限目：座学

情報通信技術や各種通信システムの基礎知識等を学びます。

6:30 7:00

起床

朝食

ホールム

8:30

9:00

10:30

1時限目

2時限目

10:30



2時限目：実習

各種通信機器に実際に触れることで理解を深め、現場で活用する技術を学びます。



2022年採用  
一般職試験（大卒程度） 農学

### 通信職員養成科での経験について

大学では情報通信技術を学んでいませんでしたが、業務を行う上での基礎となる物理学、無線工学及びネットワーク技術を丁寧に説明して貰いながら、しっかり学習できました。実習では、実際に使用されている機器を用いて、座学で学んだことを復習しながらシステムへの理解を深めていきました。

通信職員養成科で学び、経験したことで、日々の業務を自信を持って行えています。

正しい生活を送ることで、警察職員に必要な規律性や連帯感を高め、同期と協力しながら過ごします。

11:50



**昼休み**

食堂で同期と昼食を食べ、午後からの元気を養います。同期との楽しい会話は良いリフレッシュになります。

15:50



**5時限目：体育**

スポーツを通じて基礎体力の強化を図ります。



14:20



**4時限目：グループ討議**

討議を通じて職務に求められる技術・システム等の理解を深めます。討議結果を発表し、プレゼンテーション能力を磨きます。

19:00



**自由時間・自習時間**

売店で買い物したり、自習スペースで勉強したりするなど、自由な時間を過ごします。今日は同期との勉強会を開催し、疑問点の解消に努めました。

**Q & A**

**Q** 集団生活は不安です。

**A** 入校中に生活する寮は、全て個室となっており、プライバシーが確保された環境で勉強に集中できる環境が整っています。最初は慣れないこともあるかもしれませんが、同期との友情も芽生え充実した生活を送れます。

**Q** 外出・外泊はできますか？

**A** 授業終了後から門限までの時間は自由に外出することができます。平日の外泊は原則できませんが、金・土曜日など次の日が休みの場合、外泊することも可能です。休日は同期と外出し、東京観光をするなど絆を深めることもできます。

**Q** 携帯電話を使うことができますか？

**A** 講義中は使えませんが、寮室内は自由に使えます。

**Q** 警察官のように体力は必要ですか？

**A** 警察庁技術職員は技術力で警察活動を支えています。体力にあまり自信のない方や、運動が苦手な方でも心配りありません。



## 職場における各課での研修（職場実習）

警察情報通信学校で習得した知識・技能をもとに、配属された情報通信部の機動通信課、通信施設課、情報技術解析課の各課において実務を行いながら、約半年間の研修を受けます。

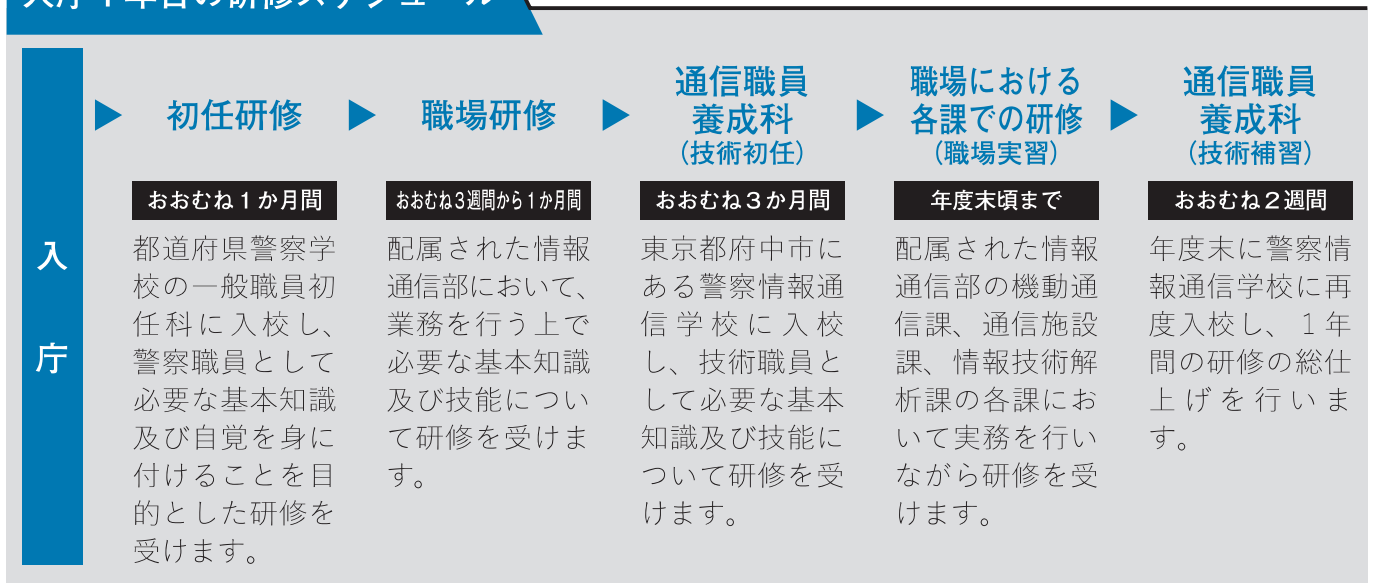
職場研修を通して、警察通信施設における障害発生時の一次対応方法及び基本的な情報技術の解析を行うために必要な知識・技能を身に付けます。

## 通信職員養成科（技術補習）

1年間にわたる研修の総まとめとして、再び警察情報通信学校に入校し、2年目からの実業務に向け、より実践的な研修を行うとともに、これまでの研修・実習を通して学んだ「知識・経験」を、全国の同期と討議を交えてより深いものにします。

### 入庁1年目の研修スケジュール

※スケジュールは一例です。状況に応じて学校への研修期間など変更されます。



### 警察庁の研修制度について

警察庁の研修は大変充実しており、情報通信に関する知識に自信がない方でも、採用後に業務に必要な知識を身に付けることができます。

入庁1年目は、警察情報通信学校での研修のほか、配属された所属での職場実習など、警察庁技術職員として必要になる基礎的な技術・知識を身に付けるための研修を受けます。

入庁2年目以降にも、警察情報通信学校での専門的な研修や国内外の大学院等で研究を行う留学制度があるほか、他省庁が主催する研修を受ける機会もあります。

## 専門研修（各種専科入校） 2年目以降

業務において必要となる知識・技術は専門的かつ高度なものとなります。そして日々進歩する情報通信技術に対応するため、1年目の採用時研修修了後も様々な研修体系が整備されており、このような専門的な研修は新たな業務に従事するため一定レベルの技術を身に付ける必要があるとき、より高度な技術を身に付ける必要があるときなど、様々な機会に受けることができます。



九州管区警察局  
福岡県情報通信部  
情報技術解析課 主任

2017年採用  
一般職試験(大卒程度)  
土木



関東管区警察局  
栃木県情報通信部  
機動通信課 係員

2021年採用  
無線従事者資格

### 各種専科入校を終えて

現場で行っている業務に直結する知識や技術を習得することができたので、入校を終え現場に帰るときには大きな自信を持つことができました。

また、違う業務にあたることになっても、その業務に特化した専科に入校することができるため、新しい業務にも不安なく取り組むことができます。

### 各種専科入校での経験について

普段自分が保守しているシステムについて、座学や実習を通じてより詳しく学ぶことができます。

実習は実際にシステム上で運用されている機器を使用して行います。自県では整備されていない機器を取り扱うことができたり、自所属で発生した障害事例を共有したりするなど、専科ならではの貴重な経験ができました。



# 女性職員座談会 ～女性目線で見た警察庁技術職員の魅力～

女性警察庁技術職員3名に、どのようなきっかけで警察庁技術職員を志望し、  
入庁してからどのような経験をしたのか。  
女性目線で見えた警察庁技術職員の魅力を語っていただきました。



情報技術解析課 係長  
2017年採用  
一般職試験（大卒程度）  
電気・電子・情報



通信施設課 係長  
2008年採用  
II種試験  
電気・電子・情報



機動通信課 主任  
2020年採用  
一般職試験（大卒程度）  
化学

## ——現在の業務内容を教えてください。

情報システムに関する管理業務をはじめ、職員の業務の合理化・効率化を促進させるため、業務のDX推進に取り組んでいます。

昨年度は、府県情報通信部の情報技術解析課で、電子機器に保存されている情報の解析やサイバー事案による被害の未然防止や拡大防止に向け、民間事業者や官公庁、学校などを訪問し、サイバーセキュリティに関わる情報提供や講演を行い、セキュリティ意識の向上を図りました。



基幹IP網システムや電子交換機システムなど、警察活動に必要な情報通信システム等の管理及び保全業務を行っています。

また、災害発生時や警衛・警護警備時などに、機動警察通信隊員として臨時的通信施設の設置や現場映像の撮影・伝送等の情

報通信対策を行っています。



私には3歳と0歳の子供がおり、現在は二子の育児休業期間中です。育児休業前は、管内の各府県における警察通信施設の整備に係る予算要求の取りまとめ及び警察庁への予算要求業務を行っていました。



## ——警察庁技術職員を志望した理由を教えてください。

学生時代に情報科学を専攻しており、テレビやインターネットで報道されている

サイバー犯罪の取り締まりや解析業務に関心を持っていたところ、学校での業務説明会で警察庁技術職員の存在を知りました。国民の安全・安心を守る警察業務に欠かせない警察通信システムの保守や犯罪捜査に関する電子機器の解析業務など、技術の力で幅広く社会に貢献できることに魅力を感じ、警察庁を志望しました。

私は学生時代に電気電子情報を学んでいたため、その知識をいかせるような仕事をしたいと考えていました。


官庁訪問で警察通信施設の維持管理業務や機動警察通信隊活動に興味を持ち、警察通信が担う役割にやりがいを感じたので希望しました。


やりがいを感じて働き続けられる職に就きたいと思ったからです。

学生時代に国内の観光名所を旅行した際、外国人観光客の多さに非常に驚きました。外国人が日本の何に魅力を感じているのか調べたところ「治安の良さ」が挙げられており、日本の治安は世界に誇れるものなのだと気がつきました。理系として社会の治安維持に関わるような仕事に携わりたいと思い、警察庁技術職員を志望しました。




——警察庁技術職員を目指す皆さんへ  
メッセージをお願いします。

 入庁後の研修制度は充実しているので、業務に必要な知識は入庁後でも十分身につけることができます。社会に出てから得た知識だけでなく、学生時代に一生懸命取り組んだことが自分自身の強みとなり、役に立つ場面がきっとあります。ぜひ今からでも向上心を持って、自分の好きなこと、得意なことに精一杯取り組んでもらえればと思います。


 警察庁技術職員の業務内容は多岐にわたるので、色々な経験をする事ができます。

研修や周囲のサポートも充実しており、スキルアップができる職場です。

みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。


 警察組織を支える情報通信技術のプロフェッショナルであり、全国規模の仕事に携われることが大きな魅力です。警察ならではの貴重な経験が多く、好奇心を持って働き続けられると感じています。ぜひ、業務説明会・職場訪問に来てください。そして警察庁技術職員について理解を深めてもらえると嬉しいです。


——女性目線でみた警察庁技術職員の魅力は？

 男女問わずに活躍できる職場であると感じます。


技術は日々進歩しており、自らの知識のアップデートは欠かせませんが、自らの業務が事件の早期解決に繋がる、もしくは安全・安心な我々の生活に繋がっていると考えると、とてもやりがいを感じる事ができます。

職場の雰囲気も、周囲とのコミュニケーションが活発であり、情報共有を図りやすい雰囲気です。上司への報告・連絡・相談を意識的に実践し、全体で共通認識を持つことによって、問題の早期発見に繋がっているほか、何かトラブルが発生しても滞りなく業務を進めることができるよう取り組んでいます。


 出産育児に関する各種支援制度が整っているため、女性が働きやすい職場だと思います。第一子出産後の復職時には、子供を保育所に送迎するために育児短時間勤務制度を活用したり、体調を崩したときには子の看護休暇を取得できたので助かりました。復職時も出産前と同じ業務に携わることができ、心理的なハードルが下がり安心して復職できました。


 業務面での魅力は、研修制度がとても充実していることです。知識・技術を身につけられる機会が十分にあります。また、職場環境が良く、各種休暇を取りやすい雰囲気なので、ワークライフバランスの充実を図れることも魅力です。女性に限らず、男性も育児休業を取得しており、男女問わず育児の大切さや困難さを理解していることも良い風潮だと感じています。

——今までで一番印象に残っていることを教えてください。

 通信施設課で初めて担当した、警察署の新築移転工事が印象に残っています。

工事仕様書作成や工事監督等、当初不安はありましたが、上司や先輩方から助言をもらいながら、無事に移転を迎えることができ、良い経験になりました。

 2019年6月に開催されたG20大阪サミットでの通信対策業務が印象に残っています。当時所属していた大阪での開催ということで、1年以上前から準備に取りかかる非常に大がかりなものでした。日本全国から集まった大勢の応援派遣の方とともに無事に任務を完遂することができ、人脈も増え、とても学びの多い経験となりました。

 通信指令システムの更新が一番印象に残っています。新旧のシステムを入れ替える際にも、110番の受理を決して途絶えさせることがないよう、細心の注意を払って切替作業の計画を立てました。自分の担当している業務が県民や都道府県警察に大きな影響を与えているのだと、身の引き締まる思いがしました。また、採用されて2年目という早い時期に、納入される機器の事前の検査に同行させていただけたのも良い経験になりました。



# キャリアパス



東北管区警察局 青森県情報通信部長

## 大崎 博美

1984年採用  
国家公務員Ⅲ種試験（電気）

2023年 現職

2021年 警察庁 理事官

2019年 東北管区警察局情報通信部 調査官

2016年 警察庁 課長補佐

2014年 岩手県情報通信部 課長

2012年 復興庁出向 岩手復興局支所長

2011年 関東管区警察局情報通信部 課長補佐

2008年 栃木県警察出向 課長級

2006年 岩手県情報通信部 係長

2003年 警察庁 係長

2000年 岩手県通信部 係長

1998年 青森県通信部 係長

1997年 岩手県警察出向 係長級

1994年 岩手県警察出向 主任級

1984年 入庁



## 現在の業務内容

私が在籍する青森県情報通信部は、青森県警察の警察活動で欠かせない警察無線、警察電話、基幹ネットワーク等の警察通信施設を整備、維持管理しているほか、大規模災害や各種警備等における通信確保や現場映像の伝送、犯罪の取り締まりのための情報技術の解析に関する業務等を担い、県警察の活動を技術力で支えています。現在は県警察を直接支援する部の責任者として任務の重さを感じていますが、非常にやりがいのある仕事です。

## 受験生へのメッセージ

私たちの仕事は、電気、電子、ICT等の多様な技術力を駆使し、国民の安全・安心を守る警察活動の一端を担う重要な仕事であり、誇りを持って従事しています。警察で必要となる技術力をどのように学び、実践していくのか不安な方も多いと思いますが、警察庁は、各分野の人材を育成する警察独自の教育施設や職場での教養、実習など研修制度が充実しています。ぜひ、我々と共に技術力で日本を守る若い力をお待ちしています。





中国四国管区警察局  
鳥取県情報通信部  
通信施設課長

## 山下 真央

2000年採用  
国家公務員Ⅱ種試験  
(電気・電子・情報)

### 現在の業務内容

現在は鳥取県情報通信部通信施設課において、警察業務で使用する無線機や電話などの通信施設の新増設・改修に関する工事の計画から実行までの進捗管理や課員への指示、また、業務がスムーズに進むように管区警察局や県警の関係各所との調整を行っています。

### これまでのキャリアを振り返って

今まで複数の県情報通信部や管区警察局の通信施設課で工事担当を多く経験し、経験を重ねるにつれ次第に大きな工事に携わるようになりました。全国統一的なシステムの更新工事では、警察庁をはじめ県や管区の連携が不可欠であり、各々が責任を持って役割を果たすことが完成につながることを実感しました。全国の警察庁技術職員の技術力とチームワークと努力が一体となって警察活動を支えていることを誇りに思います。

2023年 現職

2022年 近畿管区警察局情報通信部 課長補佐

2020年 中国四国管区警察局情報通信部 課長補佐

2019年 中国四国管区警察局情報通信部 専門職

2018年 鳥根県情報通信部 係長

2013年 鳥取県情報通信部 係長

2011年 岡山県情報通信部 係長

2008年 警察庁 主任

2006年 近畿管区警察局 主任

2003年 京都府通信部 主任

2002年 警察庁 係員

2000年 入庁



関東管区警察局  
長野県情報通信部  
情報技術解析課 課長補佐

2009年採用  
国家公務員Ⅱ種試験 (物理)

### 現在の業務内容

現在は課長補佐として課内のマネジメントや関係各所との調整を行うことで、県警察の捜査活動等に情報技術解析課の技術力が最大限活かせるよう業務を行っています。現在の立場は、個人ではなく課としての成果を挙げることが求められる中で、人を管理する・動かす仕事を中心となり、今まで以上に人間力が求められ苦労もありますが、自分の仕事が組織の方向性や成果に直結するため、大きな責任とともにやり甲斐を感じています。

### 受験生へのメッセージ

私の学生時代の専攻は情報通信とは異なる分野であり、採用され一から勉強を始めました。警察組織に自身の技術を活かしたいという思いから多くを学ぶようになり、気がつけば情報通信に精通して警察活動に貢献できるようになっていました。大切なのは警察として自分の技術力を国民の安全・安心のために発揮したいという気持ちだと思います。技術で警察活動に貢献したいという思いがある方は、ぜひこの仕事に挑戦してみてください。

2023年 現職

2021年 長野県警察出向 係長級

2018年 長野県情報通信部 機動通信課 係長

2016年 千葉県情報通信部 機動通信課 係長

2014年 千葉県情報通信部 情報技術解析課 係長

2013年 神奈川県情報通信部 情報技術解析課 係員

2010年 神奈川県情報通信部 機動通信課 係員

2009年 入庁

# ワークライフバランス

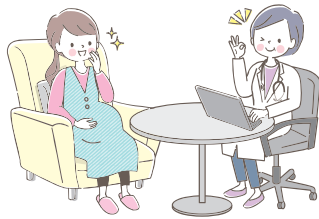
## 警察庁職員が利用できる主な仕事と育児の両立支援制度

### 育児休業

3歳未満の子を養育する場合、配偶者の就業の有無にかかわらず、3歳の誕生日の前日までに休業できます。

### 職務専念義務免除

妊産婦が健康診査や保健指導を受診する、通勤時の混雑が妊娠中の負担になる場合、勤務しないことが認められます。



### 産前・産後休暇

産前6週間、産後8週間の休暇を取ることができます。

### 配偶者出産休暇

配偶者の出産に伴う入退院時・出産時の付添などを行うために休暇を取ることができます。

### 男性職員の 育児参加のための休暇

配偶者が出産する場合、その出産にかかる子または小学校就学に達するまでの子を養育する男性職員が休暇を取ることができます。



### 子の看護休暇

小学校就学前の子を養育する職員が子の看護をする必要がある場合、年5日の休暇を取ることができます。



### 早出遅出勤務

小学校就学前の子の養育、放課後児童クラブなどに通う小学生の子の送迎を行う場合、始業・終業時刻を繰り上げまたは繰り下げて勤務することができます。

### 育児時間

小学校就学前の子を養育する場合、1日の勤務時間のうち最大2時間まで勤務時間を短縮できます。

### 育児短時間勤務制度

小学校就学前の子を養育する場合、該当する勤務形態により勤務時間を短縮することができます。

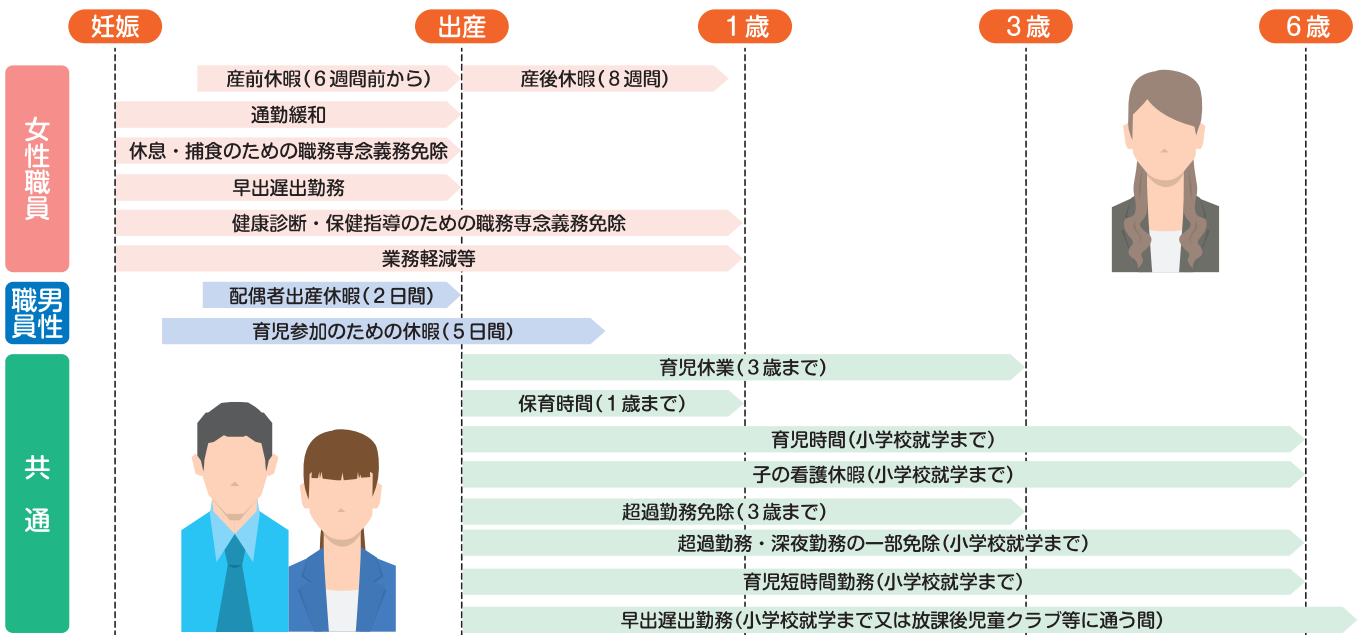


### テレワーク勤務

1日の勤務時間全体または一部を自宅で勤務することができます。



○そのほか、育児に関する両立支援制度のほか、介護に関する休暇やフレックス制度、ワークライフバランスを支援する制度が多数あります。





2008年採用  
 国家公務員Ⅱ種試験 機械  
 九州管区警察局  
 福岡県情報通信部 機動通信課 主任

### 仕事と育児の両立の体験談

私には小3の長女と保育園年中の長男がいます。長男の出産後、すぐに夫の転勤が決まりました。夫が単身赴任となり私1人での育児は厳しいと思い、1年間としていた育児休業を3年に延長し、家族揃って、夫の赴任先に付いていきました。

仕事に復帰してからは、保育園と留守家庭に通う子どもたちの送迎を夫と分担していますが、夫の急な残業などの場合は、私が年次休暇を使うなどして互いに協力しながら送迎を行っています。

#### ある1日のスケジュール 01

- 6:00 **起床**  
 長男の保育園に持参するお弁当の準備と身支度をします。学校が長期休みの期間は、長女のお弁当も準備します。
- 6:50 **夫の出勤と長男の登園**  
 夫が長男の送迎を担当しています。
- 7:50 **長女の登校と出勤**  
 長女と一緒に自宅を出て、そのまま出勤します。
- 9:00 **始業**  
 機器点検やメールの確認。警察本部にある機器やサーバ等に異常がないか点検をします。警察署等からの機器に関する問い合わせや障害、警報の対応をします。また、職員の出張や休暇等に伴う出勤簿や手当等の申請の手続きを行います。
- 17:30 **退庁**  
 夫が残業や出張等で不在時は、保育園へ迎えに行きます。
- 18:10 **帰宅**  
 子どもたちから、その日の出来事を聞きながら夕飯の準備をします。料理の合間などに、長女の宿題の採点と間違っていた問題のやり直しをします。
- 19:00 **夕飯**  
 食事後に引き続き長女の宿題を見ます。終わり次第、お風呂と洗濯や片付け、明日の準備をします。
- 21:20 **就寝**  
 子どもたちを早めに布団へ連れて行きますが、寝るのは22時頃になります。



2018年採用  
 無線従事者資格  
 警察庁  
 長官官房 人事課 主任

### 仕事と育児の両立の体験談

私は二人目の子供が生まれる半年ほど前から上司や同僚に相談し、出産に合わせて「男性職員の育児参加のための休暇」や「育児休業」を約2か月間取得しました。

育児や家事の大変さを実感したことは、今後の育児と仕事の両立を考える上でとても良い経験になりました。男女問わず育児休業を取得しやすい雰囲気はもちろんのこと、各種休暇の推奨等、仕事と育児の両立に非常に理解のある職場ですので、働きやすさを実感しています。

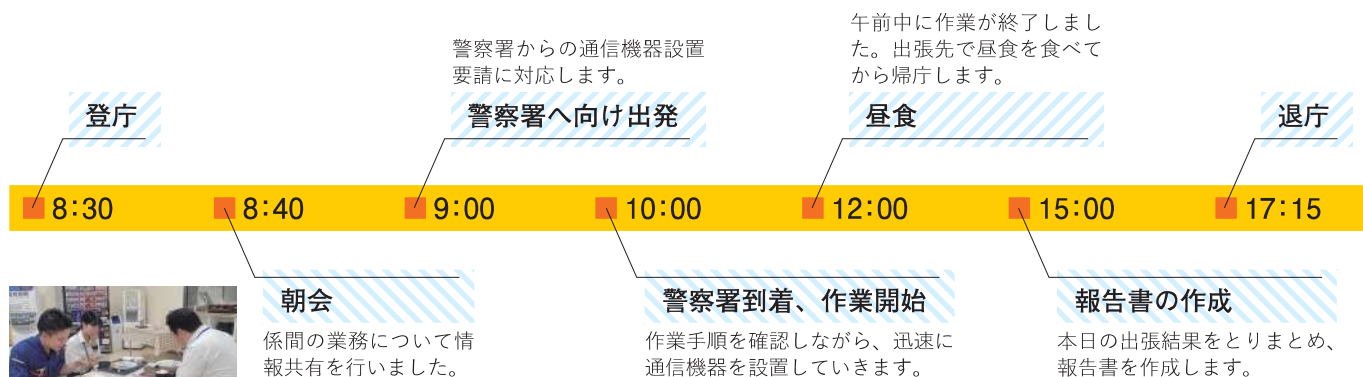
#### ある1日のスケジュール 02

- 6:00 **起床**  
 朝の家事を妻と分担して行います。私の担当は、洗濯物と朝食の準備です。
- 7:20 **長女の保育園送り**  
 お迎えは妻にお願いしています。
- 9:30 **業務開始**  
 警察庁技術職員の採用業務を担当しています。朝はメールの確認や業務状況について上司に報告し、一日の流れを確認します。
- 10:30 **打合せ**  
 関係省庁と連絡をとり、今後の採用の広報活動に関する打合せを行いました。
- 12:00 **昼食**  
 持参したお弁当を食べます。
- 13:00 **資料作成**
- 16:00 **採用活動**  
 業務説明会をオンラインで開催しました。学生の皆様とお話する中で教わることも多々あり、日々の気づきがあります。
- 18:15 **退庁**  
 今日は定時退庁日です。
- 19:30 **帰宅**  
 家族だんらんの時間を過ごします。最近では子供の好きなキャラクター遊びやおまごをよくします。
- 22:00 **就寝**

# 若手職員の日



東京都警察情報通信部 多摩通信支部 機動通信課 係員  
2021 年採用  
一般職試験（大卒程度） 電気・電子・情報



## 現在の業務内容

警察通信機器を捜査や警備等に必要活用ができるよう維持管理・運用を行っています。また、機動警察通信隊員として、災害や突発事案が発生した際に現場での通信システムの構築、映像伝送等が迅速に対応できるように訓練に参加し、その時に備えています。

## 休日の過ごし方・リフレッシュ方法

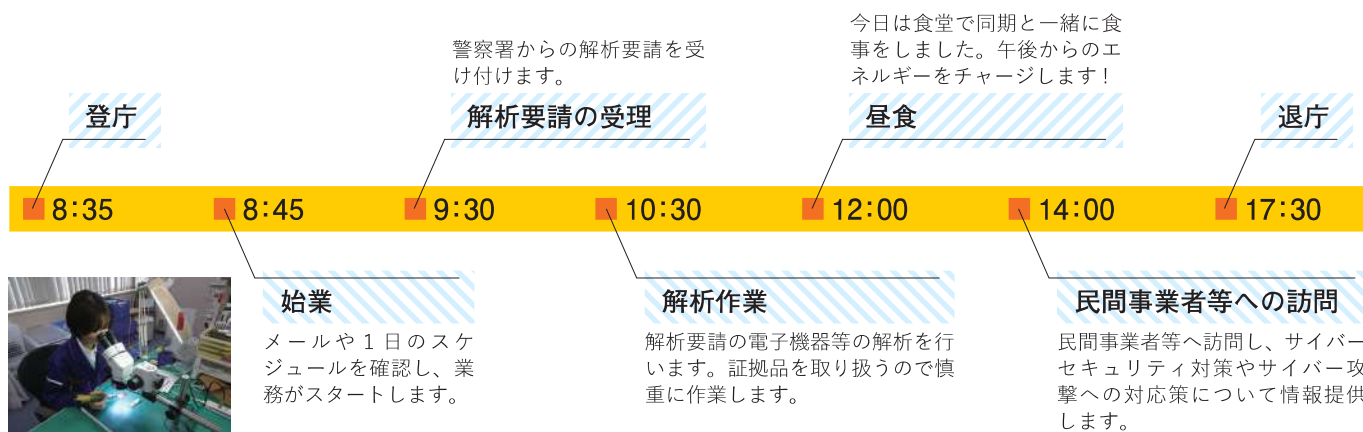
休日は近所のスポーツジムに行き、1時間から2時間程度トレーニングをして汗を流したり、配偶者・友人との飲食や旅行に行くことが多いです。また、最近は日帰りで温泉に行ったり、近所の図書館に行き好きな本を読んで休日を過ごしています。



# 若手職員の日



九州管区警察局 福岡県情報通信部 情報技術解析課 係員  
2022 年採用  
一般職試験（大卒程度） 化学



## 現在の業務内容

事件捜査で押収されたスマートフォンやパソコン等の解析やランサムウェアなどの不正プログラムによる被害防止のデモを行っています。また、サイバー犯罪やサイバー攻撃の捜査に関する技術支援を担っています。

## 休日の過ごし方・リフレッシュ方法

休日は本を読んだり、映画、ドラマ鑑賞をしてゆっくりと過ごします。休暇を利用して旅行に行き、リフレッシュして充実した休日を送っています。仕事のオン・オフをしっかりと切り替えて、頑張っています。



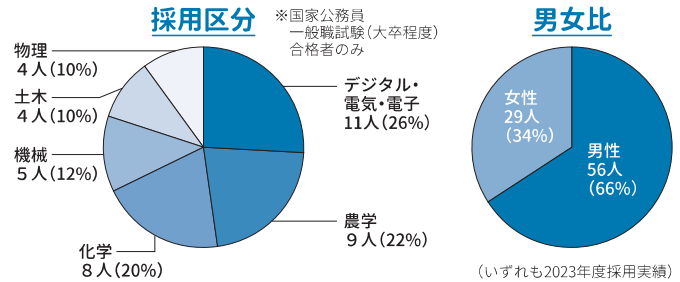
## 採用案内

### 近年の採用実績

採用年度	国家公務員一般職試験										選考試験		計	
	大卒程度										高卒者	無線資格 (一陸技)		経験者 採用 (係長級)
	電気・電子・ 情報(※)	機械	土木	建築	物理	化学	農学	農業農 村工学	林業					
2019年度	32	5	8	1	7	2	2	0	0	10	37	0	104	
2020年度	27	2	9	2	3	11	3	0	0	15	33	0	105	
2021年度	11	5	2	0	4	16	11	2	0	18	34	2	105	
2022年度	21	1	2	1	4	15	14	0	1	7	37	0	103	
2023年度	11	5	4	0	4	8	9	0	0	7	37	0	85	

※「電気・電子・情報」区分は、2022年度試験から、「デジタル・電気・電子」区分となっています。  
 なお、管区警察局別の採用状況は、各管区警察局のホームページ等をご覧ください。

あなたが持っている理系の知見を活かせるフィールドが警察庁には必ずあります。



理系としての素養をお持ちの方でしたら、学生時代の専攻にとらわれず人物本位での採用を行っております。採用区分によって配属先やキャリアパスに影響を与えることはありません。

また、「警察」と聞くと男性の職場のイメージを持たれる方もいらっしゃいますが、2023年度採用者の女性比率は約34%となり、近年女性の採用比率も増えつつあり、勤務環境も整備されています。

### 業務説明会・職員訪問のご案内

警察庁及び各地方機関において、業務説明会及び職員訪問を随時実施しております。職場の雰囲気や実際に勤務する職員からの生の声を聞くこともできますのでぜひ、お気軽にご参加ください。採用イベント情報については、警察庁ホームページや各地方機関のホームページをご確認ください。各種ご希望や不明点等がございましたら、警察庁技術職員採用メールアドレス(ippansyoku-saiyo@npa.go.jp)までご連絡をお願いします。



#### 2023年度内定者の声

#### 2023年度採用内定者のアンケート結果をご紹介します！

##### ○警察庁を志望した理由は？

- ・理系の知識、取得した資格を生かして仕事をしたかったから。
- ・安全・安心につながる仕事があったから。
- ・技術で警察活動を支えたいと思ったから。
- ・幅広い分野の技術に携われることに魅力を感じたから。

##### ○警察庁の業務説明会に何回参加した？

「1回」の内定者が多数！

何回も参加しないと内定をもらえないのではないかと不安に思う方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。もちろん、採用されてから「イメージとかけ離れていた」とならないように、疑問に思ったことは採用担当者に積極的に質問してみてください！

##### ○警察庁以外の省庁の説明会にも参加した？

採用区分によって差があります。

全体の傾向として、国家公務員試験受験者は、他省庁の説明会にも参加した方が多く、無線従事者資格保有者は、警察庁のみ参加した方が多かったです。

警察庁のみ参加した方も、事前に情報を収集したうえで警察庁に絞っているようです。

##### ○官庁訪問、採用面接の対策は？

- ・自己分析し、志望理由を明確にした。
- ・学校の就職支援課、公務員予備校や友人同士で面接練習を繰り返した。
- ・学校の公務員講座で情報収集した。

準備せずに面接本番に挑むと、思ったように話すことは難しいです。自分の考えを整理し、練習を繰り返すことが大切です。

# 採用 Q & A

Q1

採用は管区警察局のみで行われるのですか？

**A** 各管区警察局、北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部及び四国警察支局において採用しています。  
なお、関東管区警察局と東京都警察情報通信部は、いずれも首都圏において警察の情報通信部門として活動するという点で親和性があることから、合同で職員の採用を行っています。また、人事異動による職員相互のモチベーションの活発化と、キャリアステップの向上を図るため、人事交流も積極的に推進しています。

Q2

国家公務員試験合格者しか採用されませんか？

**A** 第一級陸上無線技術士の資格を保有する方を対象とした、選考採用も実施しています。また、一定の職歴等を有する方を対象とした、経験者選考採用を実施する場合があります。

Q3

担当する業務は、情報通信部門のみですか？

**A** 基本的には情報通信部門の業務を担当しますが、都道府県警察や警察庁に出向し、生活安全、刑事、交通、警備といった警察の他分野での勤務や、他省庁での勤務を通じて、情報通信に関する知識や技術を活かし、多様な経験を積むチャンスもあります。

Q4

総合職と一般職の業務の違いは何ですか？

**A** 総合職は技術的な知見を活かしつつ、主に政策の企画・立案に携わります。一方、一般職は第一線警察活動における情報通信システムの整備・運用や事件捜査のデジタル・フォレンジック（鑑識）など、専門的な知識や技能を幅広く活用する業務に従事します。

Q5

国家公務員試験合格者ですが、採用までに取得しなければならない資格はありますか？

**A** 採用までに取得必須の資格はありません。採用後は、無線従事者資格である第一級陸上特殊無線技術士の資格を取得するために、必要な知識を学びます。

Q6

異動について個人の希望は反映されますか？また、異動の周期はどれくらいですか？

**A** 異動に関する希望調査を毎年実施しており、また、希望が変わった場合も随時受け付けています。適性や能力等も十分考慮しつつ、勤務地の希望も含め、可能な限り本人の希望に配慮した人事配置を行っています。  
また、異動の周期は概ね3～5年周期で異動するケースが多くなっています。

Q7

警察庁本庁で勤務することはできますか？

**A** 本人の希望や適性によって、警察庁本庁や警察情報通信研究センター、サイバーセキュリティ対策研究・研修センターで勤務することもできます。

本パンフレット掲載者の所属・職名は、令和5年10月1日現在のものです。

# 採用窓口



北海道警察情報通信部 通信庶務課

〒060-8520  
北海道札幌市中央区北2条西7丁目  
TEL : 011-251-0110 (内線6032)



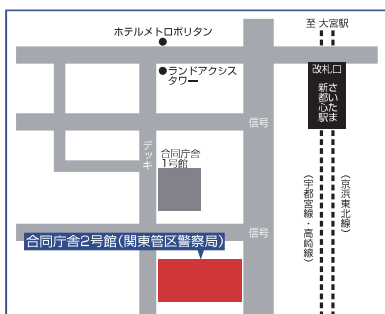
東北管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒980-8408  
宮城県仙台市青葉区本町三丁目3番1号  
TEL : 022-221-7181 (内線6032)



東京都警察情報通信部 通信庶務課

〒100-8929  
東京都千代田区霞が関二丁目1番1号  
TEL : 03-3581-4321 (内線60311)



関東管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒330-9726  
埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1  
TEL : 048-600-6000 (内線6032)



中部管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒460-0001  
愛知県名古屋市中区三の丸二丁目1番1号  
TEL : 052-951-6000 (内線6032)



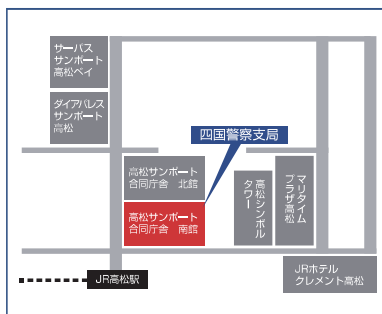
近畿管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒540-0008  
大阪府大阪市中央区大手前三丁目1番41号  
TEL : 06-6944-1234 (内線6032)



中国四国管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒730-0012  
広島県広島市中区上八丁堀6番30号  
TEL : 082-228-6411 (内線6032)



四国警察支局 情報通信部 通信庶務・施設課

〒760-0019  
香川県高松市サンポート3番33号  
TEL : 087-821-3111 (内線6032)



九州管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒812-8573  
福岡県福岡市博多区東公園7番7号  
TEL : 092-622-5000 (内線6032)





# 警察庁

National Police Agency

## 採用に関するお問い合わせ

---

警察庁長官官房人事課 採用担当

〒100-8974 東京都千代田区霞が関二丁目1番2号

TEL：03-3581-0141(代表)／内線2698

E-mail：ippansyoku-saiyo@npa.go.jp

**警察庁採用情報サイト**

<https://www.npa.go.jp/about/recruitment/index.html>



警察庁 HP

X @ NPA\_infocom



警察庁一般職技術系採用広報動画  
(警察庁公式 YouTube チャンネル)

